

# 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 美唄市内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

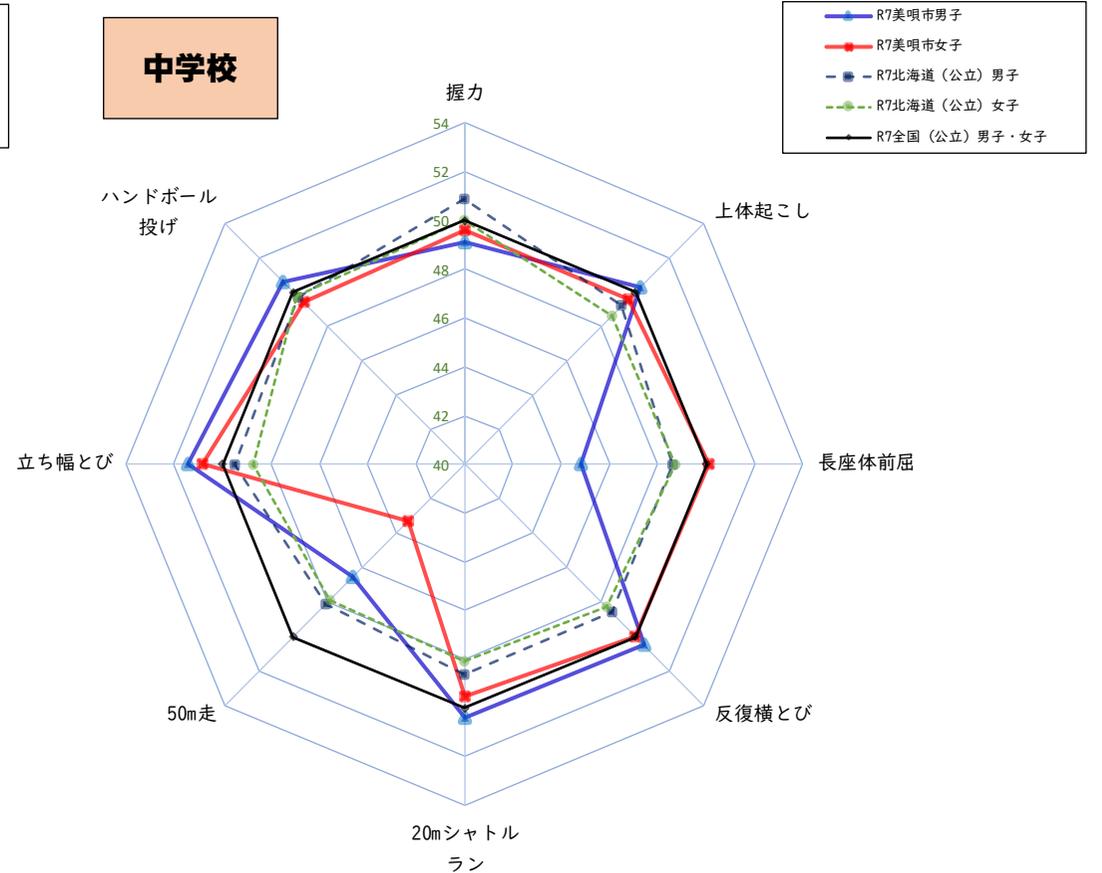
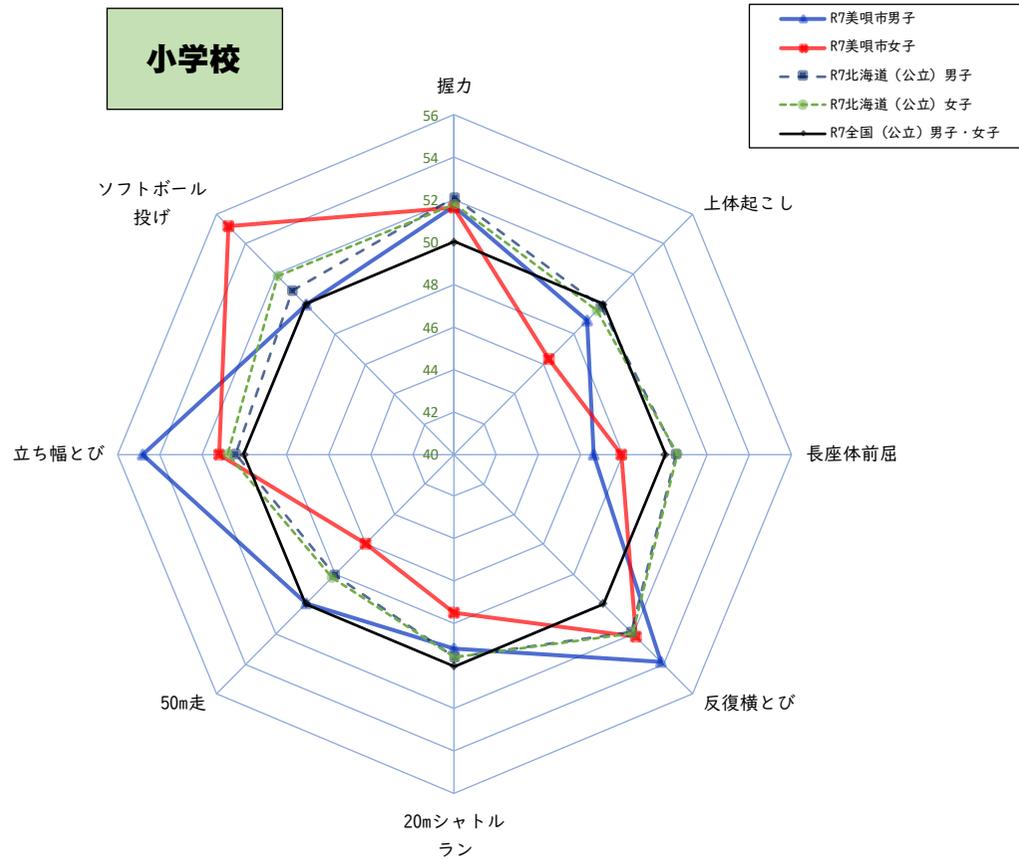
学校数：小学校2校・児童数102名、中学校2校・生徒数89名

## ○ 実技に関する調査の状況 ・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7美唄市男子	16.64	18.80	30.82	44.18	46.15	9.46	162.89	21.06	53.35
R7美唄市女子	16.21	16.25	36.21	40.36	32.76	10.17	145.34	15.50	53.45
R7北海道（公立）男子	16.76	19.33	34.37	42.49	47.16	9.67	152.02	21.85	53.60
R7北海道（公立）女子	16.29	18.12	38.71	40.25	36.13	9.95	144.25	14.04	54.61
R7全国（公立）男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国（公立）女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7美唄市男子	28.28	26.27	39.17	52.1	79.89	8.33	202.23	21.1	41.48
R7美唄市女子	22.97	21.44	47.14	45.76	49.68	9.59	168.64	12.19	47.39
R7北海道（公立）男子	29.63	25.61	43.58	50.36	75.24	8.17	195.81	20.57	41.05
R7北海道（公立）女子	23.17	20.85	45.62	44.4	46.84	9.16	162.75	12.34	45.62
R7全国（公立）男子	28.95	26.09	45.12	49.37	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国（公立）女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.6	8.97	166.44	12.43	47.58

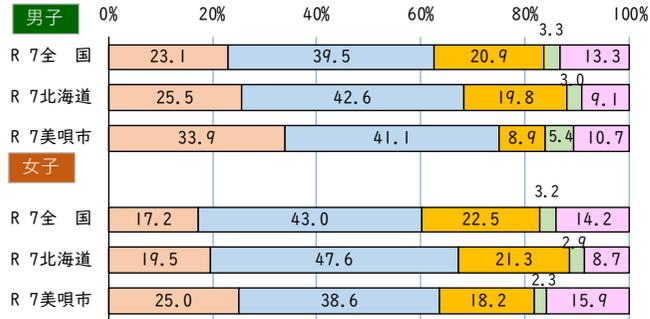
・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示



## ○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

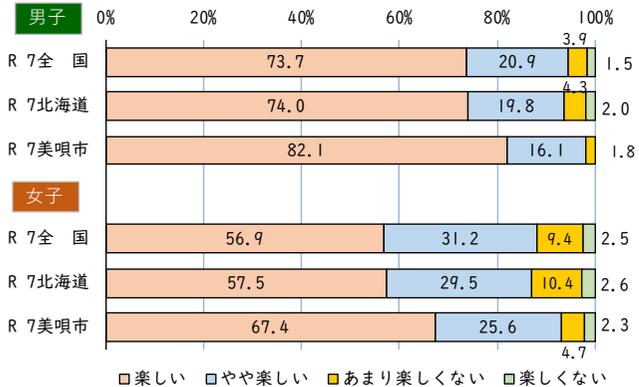
### 小学校 【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



□いつもある □だいたいある □あまりない □全くない □ICTを活用していない

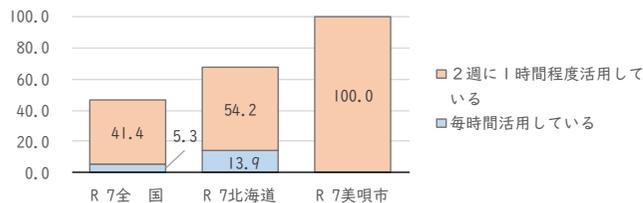
・体育の授業は、楽しいですか。



□楽しい □やや楽しい □あまり楽しくない □楽しくない

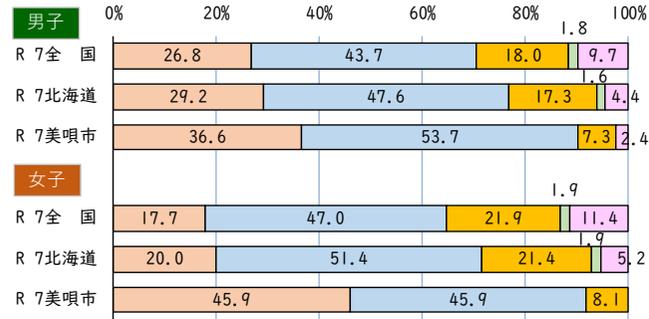
### 小学校 【学校質問調査】

・小学校におけるICTの活用



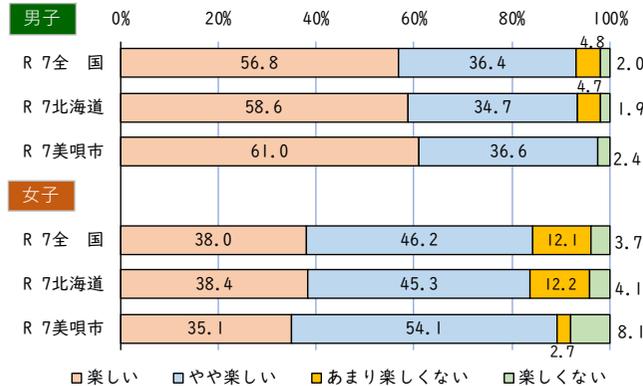
### 中学校 【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



□いつもある □だいたいある □あまりない □全くない □ICTを活用していない

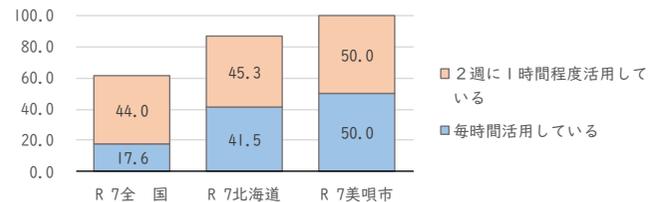
・保健体育の授業は、楽しいですか。



□楽しい □やや楽しい □あまり楽しくない □楽しくない

### 中学校 【学校質問調査】

・保健体育授業におけるICTの活用



## ■ 調査結果の分析

### 小学校

【成果】

小学校では、体育の授業において継続的にICTを活用し、動きのポイントなどの知識を理解させたり、運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがある』と肯定的に回答している生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

「体育の授業が楽しい」と回答している児童の割合が、全国及び全道を上回っているが、中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと考えている児童は、全国及び全道と同程度となっており、運動に対する意欲を継続させる指導の工夫に課題が見られる。

### 中学校

【成果】

中学校では、保健体育の授業において継続的にICTを活用し、技能の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがある』と肯定的に回答している生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

「保健体育の授業が楽しい・やや楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が全国及び全道を上回っているが、1週間の総運動時間が全国及び全道と比較して大幅に少ない状況であり、運動に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られる。

## ■ 美唄市の体力向上に向けた改善方針

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2）の結果および新体カテスト（その他の学年）を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実
- スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- コーディネーショントレーニングの小学校全学年での実施（中学校へも拡大）や外部講師・ボランティア等を活用した各学校独自の「1校1実践」の推進
- 市や各種団体が行うスポーツ教室などへの参加の奨励
- 健康（運動・食事・睡眠）についての理解促進を図り、家庭と連携した基本的な生活習慣の確立